

1 背景

地域医療構想における病床の必要量と、現在の病床機能報告の4機能別病床数は単純に比較できるものではない。そのような中、現在の病床機能報告では、回復期が大幅に不足していると誤解させる事態が生じている旨の国WGにおける指摘を受け、厚生労働省が、各県の地域医療構想調整会議の議論を活性化する観点で、本年度中に医療機能や供給量を把握するための目安として定量的な基準の導入を都道府県に対して求める通知を发出（参考資料6参照）。厚生労働省において、各都道府県が地域の実情に応じた定量的な基準を円滑に作成できるよう、データ提供等の技術的支援を実施することとなった（埼玉県方式）。

2 厚生労働省からデータ提供等を受けた定量的な基準について（以下、「国提供の定量的基準」という。）

4機能	大区分				
	主に成人		周産期	小児	緩和ケア
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	有床診療所の一般病床 地域包括ケア病床	MFICU NICU GCU	PICU 小児入院医療管理料1	
急性期			産科の一般病床 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の一般病床7:1	緩和ケア病床 (放射線治療あり)
回復期	回復期 リハビリ病床			小児入院医療管理料4,5 小児科の一般病床7:1以外 小児科の有床診療所	
慢性期	療養病床 特殊疾患病床 障害者施設等				緩和ケア病床 (放射線治療なし)

1病床を40床あたりに換算して、具体的な機能に応じて区分線を引く

<区分線1>

区分線1で高度急性期に分類する要件		しきい値	
		稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病床に換算した場合
手術	A 全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上
	B 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上
がん	C 悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上
脳卒中	D 超急性期脳卒中加算	あり	あり
	E 脳血管内手術	あり	あり
心血管疾患	F 経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上
救急	G 救急搬送診療料	あり	あり
	H 救急医療に係る諸項目（下記の合計） ・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ベレーシング法 ・非開胸的心マッサージ	0.2回/月・床以上	8回/月以上
救急	I 重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的肺動脈圧測定 ・持続緩徐式血液濾過 ・大動脈バルーンポンピング法 ・経皮的肺補助法 ・人工心臓	0.2回/月・床以上	8回/月以上
	J 全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的動脈圧測定(1時間超) ・ドレーン法	8.0回/月・床以上	320回/月以上

上記A～Jのうち1つ以上を満たす

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

<区分線2>

区分線2で急性期に分類する要件		しきい値	
		稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病床に換算した場合
手術	K 手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上
	L 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上
がん	M 放射線治療（レセプト枚数）	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上
	N 化学療法（日数）	1.0日/月・床以上	40日/月以上
救急	O 予定外の救急医療入院の人数	10人/月・床以上	400人/月以上
重症度等	P 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	25%以上	25%以上

上記K～Pのうち1つ以上を満たす

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

3 愛知県の病床機能報告（2017年度）を国提供の定量的基準を使用して試算した結果

【2025年の病床数の必要量】（愛知県）

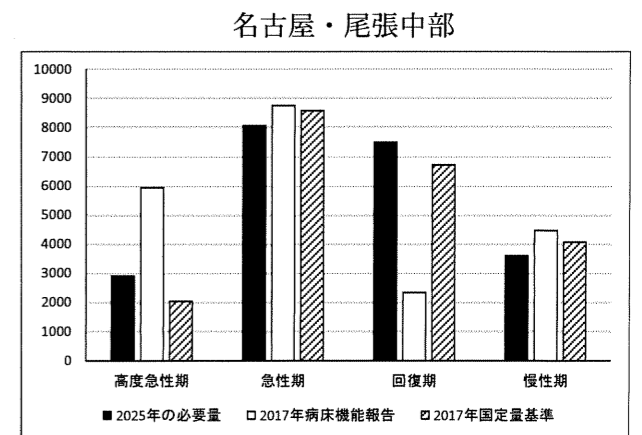
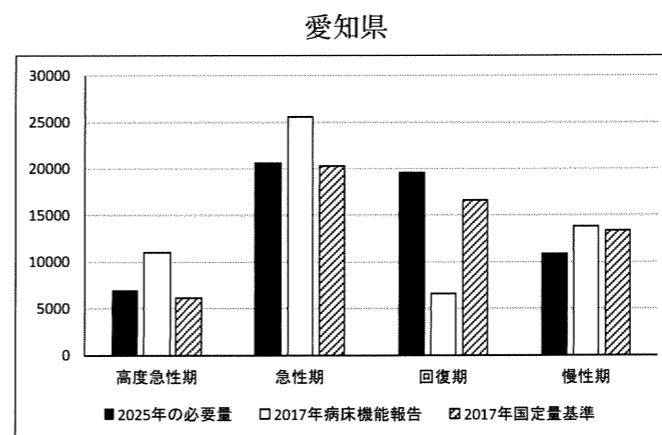
4機能区分	愛知県計	名古屋・尾張中部	海部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部
高度急性期	6,907床	2,885床	192床	799床	407床	565床	319床	368床	231床	585床	19床	537床
急性期	20,613床	8,067床	640床	2,309床	1,394床	1,822床	1,108床	1,128床	706床	1,703床	103床	1,633床
回復期	19,480床	7,509床	772床	1,374床	1,508床	1,789床	1,209床	990床	902床	1,770床	70床	1,587床
慢性期	10,773床	3,578床	377床	786床	613床	1,209床	674床	578床	486床	940床	75床	1,457床
合計	57,773床	22,039床	1,981床	5,268床	3,922床	5,385床	3,310床	3,064床	2,325床	4,998床	267床	5,214床

【2017年度病床機能報告結果】（愛知県）

4機能区分	愛知県計	名古屋・尾張中部	海部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部
高度急性期	11,033床	5,930床	187床	2,068床	92床	664床	251床	373床	305床	405床	0床	758床
急性期	25,541床	8,777床	926床	1,437床	2,479床	2,596床	1,847床	1,461床	1,015床	2,453床	126床	2,424床
回復期	6,553床	2,351床	354床	86床	583床	583床	578床	261床	340床	698床	99床	620床
慢性期	13,778床	4,457床	528床	858床	585床	1,350床	494床	549床	662床	1,216床	211床	2,868床
休棟、無回答等	1,386床	430床	48床	194床	93床	61床	315床	0床	57床	52床	29床	107床
合計	58,291床	21,945床	2,043床	4,643床	3,832床	5,254床	3,485床	2,644床	2,379床	4,824床	465床	6,777床

<2017年度病床機能報告結果を、国提供の定量的基準で試算した結果>

4機能区分	愛知県計	名古屋・尾張中部	海部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部
高度急性期	6,133床	2,049床	124床	847床	392床	385床	656床	356床	105床	724床	0床	495床
急性期	20,237床	8,575床	669床	1,935床	1,266床	1,909床	797床	1,030床	790床	1,391床	121床	1,754床
回復期	16,613床	6,703床	657床	780床	1,232床	1,509床	1,250床	602床	705床	1,434床	99床	1,642床
慢性期	13,291床	4,065床	527床	866床	566床	1,308床	595床	566床	647床	1,142床	211床	2,798床
不明	2,017床	553床	66床	215床	376床	143床	187床	90床	132床	133床	34床	88床
合計	58,291床	21,945床	2,043床	4,643床	3,832床	5,254床	3,485床	2,644床	2,379床	4,824床	465床	6,777床



<参考>

国提供の定量的基準に関する病院団体協議会からの提言

国提供の定量的基準の分類要件では、「データ抽出期間が6月1か月分のみでは季節変動が反映されない」など、多くの御意見が寄せられ、「本県においては、参考にとどめておくべきもの」との提言が、1月22日付けで寄せられている。

（提言の全文は参考資料7を参照）